



いつも隣にある図書館

【学校の概要】

- ①所在地 福島市宮下町7-4-1
- ②学級数・生徒数 21クラス・823名（令和6年4月1日現在）
- ③学校図書館の蔵書数 51,004冊（令和6年3月31日現在）

【読書活動推進へ向けた取組】

広報

図書館HP

2022年度から蔵書検索システムをクラウド版に切り替え、いつでも・どこからでも・どの端末でもアクセス可能な「図書館HP」を運営している。貸出状況を含めた蔵書の検索、新着図書・ブックリスト(推薦図書リスト)・図書館からのお知らせ・開館日カレンダー等の確認、予約・リクエスト申込み(Googleフォーム利用)、調べものに役立つ各種検索サイトや統計情報等のリンク集の利用ができる。日常の読書から探究学習、3年生の小論文対策まで活用できるHPを目指している。



図書館入口(生徒昇降口の前)



新着図書の掲示

図書館前廊下のホワイトボードに、新着図書の表紙または背表紙をカラーコピーしたものを掲示している。生徒の興味を引くような表紙や帯をなるべく活かすようにしている。

図書館だより

図書委員の広報班が中心となって作成し、8・3月以外は毎月発行している。担当生徒による新着図書の紹介、テーマを決めての特集、先生方の寄稿による随想「たちばな抄」などを掲載。全生徒・教職員にあえて紙で配布している。PDFデータ(カラー)はバックナンバーも含め図書館HPで閲覧できる。



廊下のホワイトボード

図書館報

図書委員の館報班が中心となって作成し、毎年12月に発行。令和6年度は「ページをめくるのが止められない一冊」「〇〇が好きな人におすすめの本」をテーマに特集を組んだ。紹介した本は館内に展示している。

館内展示

図書委員の企画展示班が中心となり、随時様々なテーマでコーナーを作り、展示・貸出を行っている。

【今年度実施したテーマ】

図書委員のオススメ本/教科書に載っている作者・物語に関する本/行事(七夕・夏休みなど)に関する本/タイトルは知っているけど、読んだことのない本/スポーツに関する本/食べ物に関する本/ミステリーに関する本/今年話題作



また、常設しているいくつかのコーナーのうち、「最近返却された本」「映像化された本」はよく手に取られている。入口付近にあり、「何か読みたいけれど、何を讀んでいいかわからない」という利用者が、気軽に本を借りるきっかけとなっているコーナーである。その他、受験する生徒の多い福島大学・県立医科大学で過去の小論文試験の出典になった本を展示するコーナーも常設しており、早い時期から手に取る生徒もいる。



授業・進路活動等の支援

各種ガイダンスの実施

- ・ 新入生に対して、4月の国語の時間に図書館オリエンテーションを実施している。利用ルールや館内の説明、図書館HPを大型モニターに表示しての使い方の紹介などをしたのち、館内を自由に見学する時間を設けている。
- ・ 2年次の探究学習のテーマ決めを1年次末に行っており、その前の時期にガイダンスを実施している。主に、テーマを決める際に注意すべきポイントや、探究学習向けの図書館および図書館HPの利用方法を紹介。

調べ物の支援・レファレンス

生徒が図書館で行うあらゆる調べ物の支援を行っている。答えを提供するのではなく、なるべく「調べ方」を伝えるようにしている。その結果、蔵書でカバーできない場合は、相互貸借や新規購入等の対応も行っている。

「受験・小論文コーナー」を常設

学部の選び方、志望理由書の書き方、面接のポイント、小論文の書き方等を解説した本から、小論文対策をするにあたっての分野別の「読んでおきたい本」、時事問題の本、その他受験勉強の参考になる本などを集めたコーナー。「読んでおきたい本」は持ち帰り可能なリストも設置。また、同じリストを図書館HPからも見ることができ、貸出状況の確認も可能となっている。このコーナーとあわせて新書コーナー、ブックレットコーナーも活用するようにとの呼び掛けも行っている。



受験・小論文コーナー

図書委員会行事

- ・ 夏休みの研修旅行で国立国会図書館国際子ども図書館と講談社を訪問。どちらも係の方に案内していただき、バックヤードも含めて詳しくご紹介いただいた。生徒たちは、国際子ども図書館での、建築・館内設備の話や同じ絵本の出版国による違いの話、講談社での、撮影スタジオの見学と現役編集者の方の話が特に印象に残った様子。
- ・ 11月には、毎年恒例の古雑誌の無料配布会を実施した。



国際子ども図書館



雑誌配布会

環境整備

開館時間 (月～木 7:30～17:30 金 7:30～16:45)

基本的な開館時間は8:15～16:45だが、生徒のニーズに応え、図書部教職員と図書委員生徒により、早朝開館・夕方の延長開館を実施している(長期休業中を除く)。

除籍・遡及入力

古い蔵書が多いため、毎年1,000～2,000冊の除籍を続けており、併せて不足した分野の買い替えを行うことで、新しく正しい情報の提供、書架の魅力向上につなげている。また、検索性の向上、所蔵資料の有効活用、貸出・返却作業の効率化を図るべく遡及入力作業も進めている。

その他

- ・ 6月に、南側の高窓に遮熱・UVカットの機能があるレースカーテンを設置した。これまでは季節を問わず直射日光が差し込み、学習の妨げになったり、備品や掲示物の劣化を早めたりしていたが、それらの状況が改善された。
- ・ 12月末に、蔵書検索コーナーとカウンターのPC4台中3台を更新した。1人1台端末を持つようになって、手ぶらで図書館に来て、その場で蔵書検索をしたいという利用者のニーズは以前と変わらずにある。これまでは古いPCだったため動作が遅く不安定な部分もあったが、安全・快適に利用できるようになった。また、図書委員が図書館だよりやPOP等の原稿作成をする場合にも利用しやすい環境となった。

